

野村ブル・ベア セレクト7 (米国株スーパーブル7)

償還運用報告書(全体版)

第3期(償還日2020年7月6日)

作成対象期間(2019年7月6日~2020年7月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2017年6月23日から2020年7月6日までです。
運用方針	米国の株価指数先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。
主な投資対象	円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の株価指数先物取引を主要取引対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		株組入比率	株先物比率	純資産額
		税金	中期騰落率			
(設定日) 2017年6月23日	円 10,000	円	%	%	%	百万円 110
1期(2018年7月5日)	12,385	0	23.9	—	200.1	2,740
2期(2019年7月5日)	14,809	0	19.6	—	198.9	1,982
(償還時) 3期(2020年7月6日)	(償還価額) 12,418.59	—	△16.1	—	—	731

* 株先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰落率	騰落率		
(期首) 2019年7月5日	円 14,809	%	—	%	198.9
7月末	14,990	1.2	—	—	237.9
8月末	14,092	△4.8	—	—	201.1
9月末	14,521	△1.9	—	—	211.4
10月末	14,851	0.3	—	—	188.5
11月末	15,957	7.8	—	—	200.4
12月末	16,442	11.0	—	—	200.2
2020年1月末	16,622	12.2	—	—	201.5
2月末	13,029	△12.0	—	—	237.2
3月末	9,607	△35.1	—	—	192.0
4月末	11,566	△21.9	—	—	194.5
5月末	12,348	△16.6	—	—	190.9
6月末	12,422	△16.1	—	—	—
(償還時) 2020年7月6日	(償還価額) 12,418.59	△16.1	—	—	—

* 騰落率は期首比です。

* 株先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首： 14,809円

期末(償還日)：12,418円 59銭 (既払分配金(税込み)：-円)

騰 落 率： $\Delta 16.1\%$ (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年7月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどをを受けて、米国株式市場は下落し、基準価額は下落しました。

○投資環境

米国株式市場は、期首から米中貿易摩擦の行方や米利下げ観測の高まりなどを巡り一進一退となりましたが、2019年10月以降は、堅調な米企業の決算や市場予想を上回る米国の経済指標の発表、米中貿易協議の進展への期待などから上昇しました。2020年2月下旬には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、下落に転じました。その後も、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に歯止めがかからず、世界景気の先行き懸念が強まったことや、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けた原油価格の急落などを受けて、一段と下落しました。3月下旬以降は、欧米で新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが鈍化しつつあるとの見方やFRB（米連邦準備制度理事会）の緊急資金供給策の発表などを受けて上昇に転じました。5月に入ると新型コロナウイルスの感染の再拡大が一時警戒されましたが、ワクチン開発への期待や、米経済活動の正常化への期待が高まったことや米経済指標が市場予想を上回ったことを背景に上昇しました。

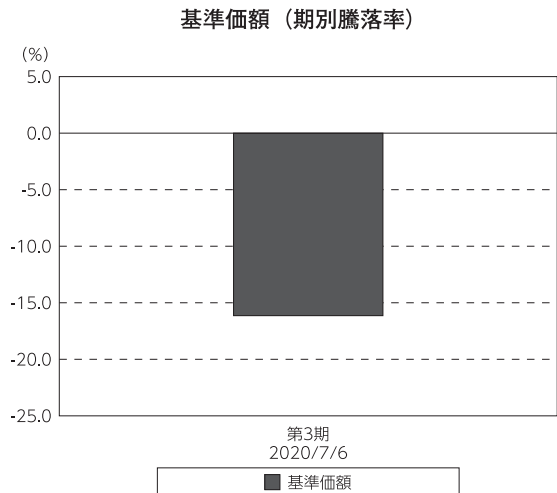
○当ファンドのポートフォリオ

わが国の短期公社債、コール・ローン等に投資すると共に、市況変動及び日々の設定・解約などに伴う純資産の変動を考慮し、日々の純資産総額に対するニューヨークダウ指数先物の買建比率が200%程度となるよう調整を行いました。また、米国ドルの変動による影響を低減するため為替ヘッジを行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

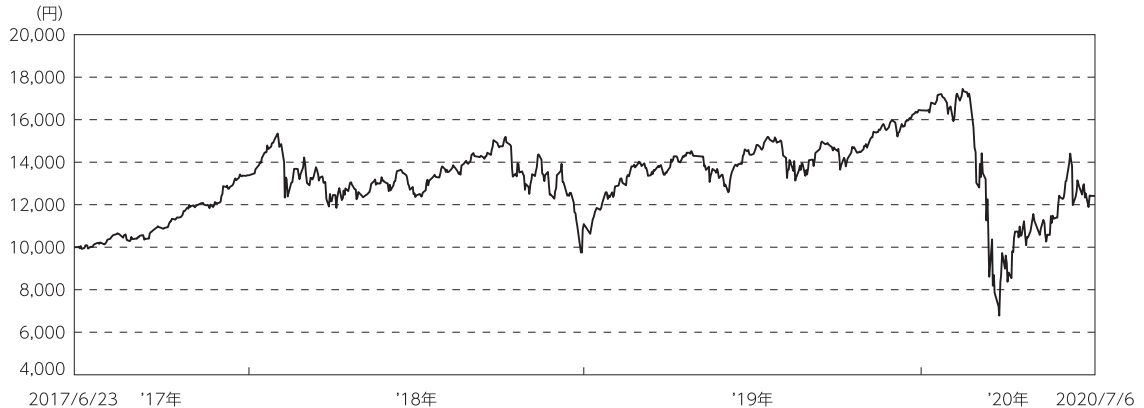


◎分配金

償還のため分配は行ないませんでした。

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の推移

基準価額は、設定時10,000円が償還時12,418円59銭となりました。設定来のお支払した分配金は1口当たり0円となりました。

○基準価額の主な変動要因

1期

設定以降、市場予想を上回る米雇用統計や、2017年4－6月期の好調な米企業決算を背景に米国株式市場は堅調に推移しました。12月以降は、底固い米国の経済指標や米税制改革法成立の追い風を受ける企業業績への期待を背景に、上昇しました。2018年2月には長期金利が上昇したことや、株式の価格変動率が高まったことなどから投資家心理が悪化し、米国株式市場は大幅に下落しました。その後は一進一退の展開が続き、5月から6にかけては、米中貿易摩擦への懸念が強まり、貿易摩擦が世界的な広がりを見せる中、米国株式市場は下落したものの、基準価額は上昇しました。

2期

2018年10月以降は、米国長期金利の上昇や米中貿易摩擦の長期化への懸念、欧州におけるイタリア財政問題や英国のEU（欧州連合）離脱交渉を巡る先行き不安などから下落しました。12月に入ると、米中貿易摩擦懸念の再燃、米政権運営や世界経済の先行き不透明感などから再び下落しました。2019年1月以降は、堅調な欧米企業の決算や市場予想を上回る米国の経済指標の発表、米中貿易協議の進展への期待、FOMC（米連邦公開市場委員会）で年内の利上げ見送りなどの方針が示されたことなどを背景に上昇しました。6月以降は、対メキシコ関税発動の見送り、市場予想を下回る5月の米雇用統計などを受けた利下げ観測の高まりなどから上昇し、基準価額は上昇しました。

3期

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことを受けて、米国株式市場は下落し、基準価額は下落しました。

○ 1口当たりの費用明細

(2019年7月6日～2020年7月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 161	% 1.158	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(61)	(0.441)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(92)	(0.662)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(8)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.056	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(8)	(0.056)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.004	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	169	1.218	
期中の平均基準価額は、13,870円です。			

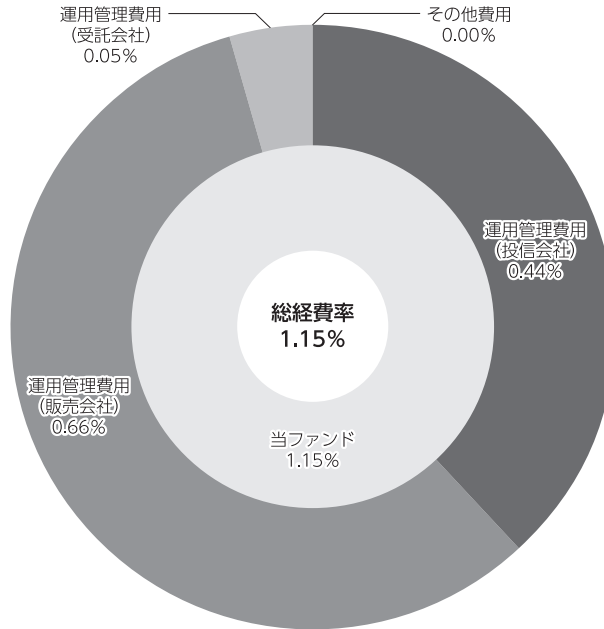
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年7月6日～2020年7月6日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 179,140,000	千円 180,139,291

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

○派生商品の取引状況等

(2019年7月6日～2020年7月6日)

先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買建		売建		当期末評価額		
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
外国	株式先物取引	DJIAVMN	百万円 30,815	百万円 34,607	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -

*単位未満は切り捨て。

*外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月6日～2020年7月6日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 6,842	百万円 421	% 6.2	百万円 6,273	百万円 412	% 6.6
為替直物取引	4,367	1,247	28.6	4,804	335	7.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2019年7月6日～2020年7月6日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 110	百万円 -	百万円 -	百万円 110	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年7月6日現在)

2020年7月6日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2020年7月6日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	851,367	100.0
投資信託財産総額	851,367	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2020年7月6日現在)

○損益の状況 (2019年7月6日～2020年7月6日)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	851,367,007
コール・ローン等	851,367,007
(B) 負債	119,402,763
未払解約金	109,031,538
未払信託報酬	10,340,958
未払利息	781
その他未払費用	29,486
(C) 純資産総額(A-B)	731,964,244
元本	589,410,000
償還差益金	142,554,244
(D) 受益権総口数	58,941口
1口当たり償還価額(C/D)	12,418円59銭

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	697,412
受取利息	△ 257,181
その他収益金	1,053,196
支払利息	△ 98,603
(B) 有価証券売買損益	△110,967,682
売買益	215,229,673
売買損	△326,197,355
(C) 先物取引等取引損益	102,348,676
取引益	825,906,317
取引損	△723,557,641
(D) 信託報酬等	△ 22,107,964
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 30,029,558
(F) 前期繰越損益金	1,413,668
(G) 追加信託差損益金	171,170,134
(配当等相当額)	(72,464,976)
(売買損益相当額)	(98,705,158)
償還差益金(E+F+G)	142,554,244

(注) 期首元本額は1,338,630,000円、期中追加設定元本額は5,602,580,000円、期中一部解約元本額は6,351,800,000円、1口当たり純資産額は12,418.59円です。

*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017年6月23日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年7月6日		資産総額	851,367,007円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	119,402,763円
				純資産総額	731,964,244円
受益権口数	11,000口	58,941口	47,941口	受益権口数	58,941口
元本額	110,000,000円	589,410,000円	479,410,000円	1口当たり償還金	12,418円59銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,212,450,000円	2,740,218,194円	12,385円	0円	0%
第2期	1,338,630,000	1,982,326,809	14,809	0	0

○償還金のお知らせ

1口当たり償還金 (税込み)	12,418円59銭
----------------	------------

○お知らせ

該当事項はございません。